

食品流通効率化推進調査（新規）

《未来を切り拓く6次産業創出総合対策のうち流通の効率化・高度化》

【88百万円】

対策のポイント

食品流通の効率化・合理化の推進と生産者の所得向上を図る観点から、フードチェーンの各段階における関係者が連携して行う輸送行程の効率化や包装・荷役作業の効率化などの取組について調査・検討を行い、取組を実践するに当たってのポイントや注意点を整理、発信します。

<背景／課題>

- ・我が国の食品流通においては、食の安全確保などコスト上昇要因を抱える中で、消費者の購買行動における低価格志向の高まりから、量販店を中心に、従来以上に効率化・合理化が求められています。そのような中で、農林水産物の小売価格も安価に推移しており、持続的な農林水産業経営が不安視される状況も生じています。
- ・このような経済的・社会的な情勢を踏まえ、生産者の所得の向上と食品流通の効率化を進めていくためには、フードチェーンの各段階の関係者が連携し、応分の負担の下、コスト削減の追求と利益確保を図ることができる取組を推進していくことが重要です。

政策目標

食品流通コストの削減による国産農林水産物の需要の拡大

<内容>

以下の調査項目ごとに、業界関係者や経営分析の専門家からなる委員会を設け、現地調査を基にした詳細な現状分析と課題整理、現場に適用するに当たってのポイント整理等を行います。

1. 輸送行程の効率化

今後、効率化の余地が大きいと考えられる中小規模の食品流通業者等による共同配送について、取組を促進するに当たっての問題点の調査や解決方を検討

2. 包装・荷役作業の効率化

荷役の効率化や環境負荷低減に効果のある通い容器を広域的に循環利用させる仕組みを機能させるに当たって、我が国生鮮品流通の大宗を占める卸売市場流通を前提とした回収体制等に関する課題の解決方を検討

3. 生産者の所得向上に資する流通の推進

我が国において取り組まれている多様な農林水産物流通について、生産者が新たな流通スタイルの活用を検討するに当たり参考となるよう、費用対効果を比較・検証

【定 額】

<事業実施主体>

民間企業等

<事業実施期間>

平成22年度

[お問い合わせ先：総合食料局流通課 (03-3502-5741 (直))]